

### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	桑のふるさと再生プロジェクト
事業主体 (連絡先)	桑ひろつ (kuwahitotsu@gmail.com)
事業区分	(5) 環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,302,545 円 (うち支援金 : 1,014,000 円)

#### 事業内容

池田町は養蚕業で栄えた町であり、広津地区には美しい桑畑の景観が広がっていた。特産品としての「桑茶」の生産と花とハーブの里の推進に力をいれており、昔ながらの桑畑の景観を取り戻しながら次世代につなげていくための桑茶とハーブの新たな価値についての活動を実施した。

- ・耕作放棄桑園の再生 (6～9月)
- ・桑植栽イベント・教室の実施：述べ参加人数 85 名
- ・桑栽培の先進地視察と実習
- ・教室や桑栽培ボランティアの募集



【植栽イベントの告知】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 当初は桑畑に戻すことに対し反発もあったが、取り組みの中で理解し共感する人間が増えてきたことを実感した。
- ② 桑にまつわる歴史的な話を聞く機会は教育の現場でも少なく、これらを老若男女問わず、興味をもつイベントや講座にすることができた。
- ③ ボランティアについても共感し、会員表明をしてくれた方が 17 名もいたことに感謝している。
- ④ 葉だけでなく、絹や実、枝や根にいたるまでの派生的な利用法についての可能性が広がった。

- ① 耕作放棄地の再生
- ② 桑関連イベントの実施
- ③ 桑葉の担い手になれるボランティアの募集
- ④ 桑の新たな利用法の模索

#### 【目標・ねらい】

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

植栽したばかりの桑やハーブ試験区についての調査検討を重ねながら、ボランティアとともに畑の維持管理を行っていく。また好評だった教室等も小・中学生のアクセスを考えた町中での開催も企画する。

**※自己評価 【A】**

**【理由】**  
 ・葉だけではない利用法などから、桑をテーマに可能性が広がり、予想を超えるボランティア表明があったため。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある